

高崎経済大学 2021年度授業実施にかかる学生アンケート概要

調査対象：経済学部及び地域政策学部学生

調査方法：Microsoft Forms

実施時期：2021年1月22日～2月4日

回答数：1,476件 うち重複53件（1人で2度の回答あり※）

重複削除後回答数：1,423件（内訳は下表のとおり）

※ 前処理として、メールアドレスにより重複を確認し、回答日時が新しい方の回答を採用。その際、自由記述の内容が回答日時により異なっている場合は、両方の回答を統合。

両学部合計

	学生数	回収数 (a)	重複 回答	重複削除後 回答数(b)	回収率 (%)	減少率 (%)
1年生	996	577	25	552	55.4%	4.3%
2年生	974	448	14	434	44.6%	3.1%
3年生	1,003	399	13	386	38.5%	3.3%
4年生	1,123	52	1	51	4.5%	1.9%
計	4,096	1,476	53	1,423	34.7%	3.6%

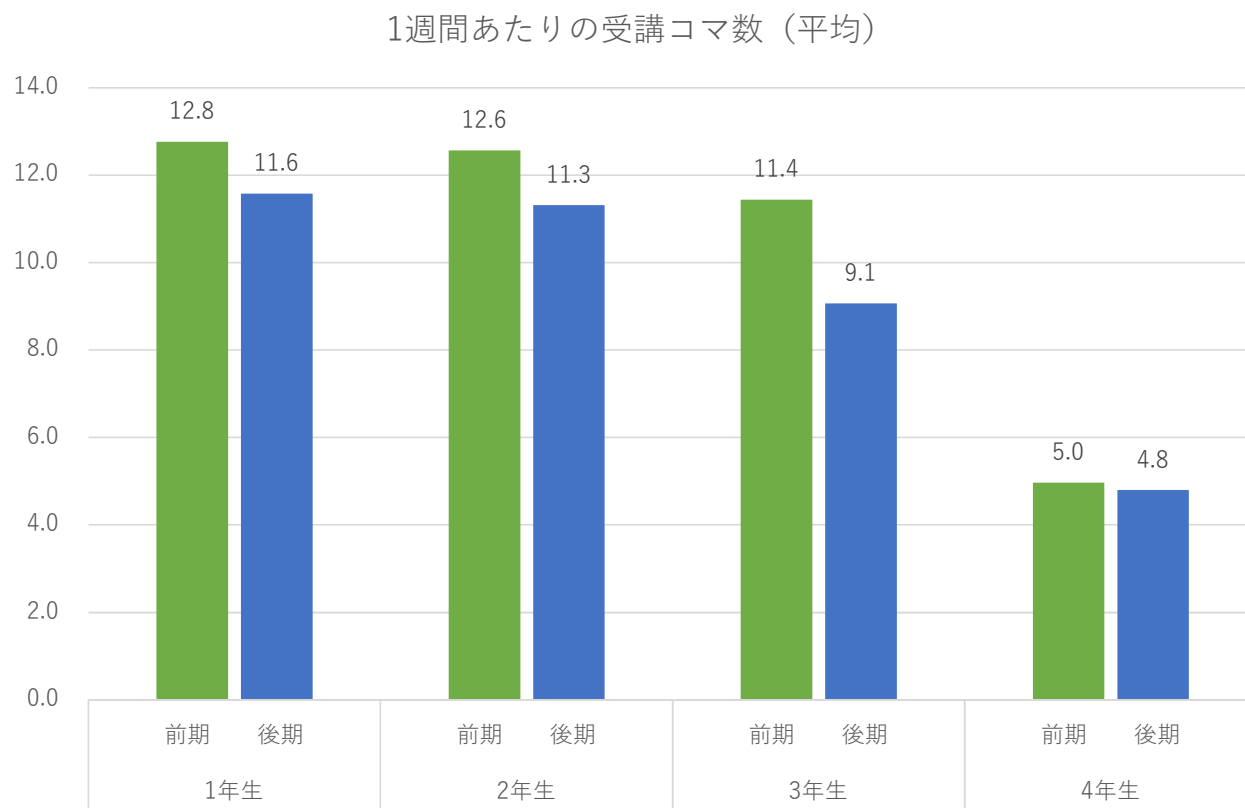
【参考】前期（2020年7月）に実施した学生アンケート

両学部合計

	学生数	回収数 (a)	重複 回答	重複削除後 回答数(b)	回収率 (%)	減少率 (%)
1年生	995	723	50	673	67.6%	6.9%
2年生	972	514	48	466	47.9%	9.3%
3年生	1,001	472	53	419	41.9%	11.2%
4年生	1,163	228	15	213	18.3%	6.6%
計	4,131	1,937	166	1,771	42.9%	8.6%

問：2020年度後期にあなたは1週間あたり何コマ受講しましたか。

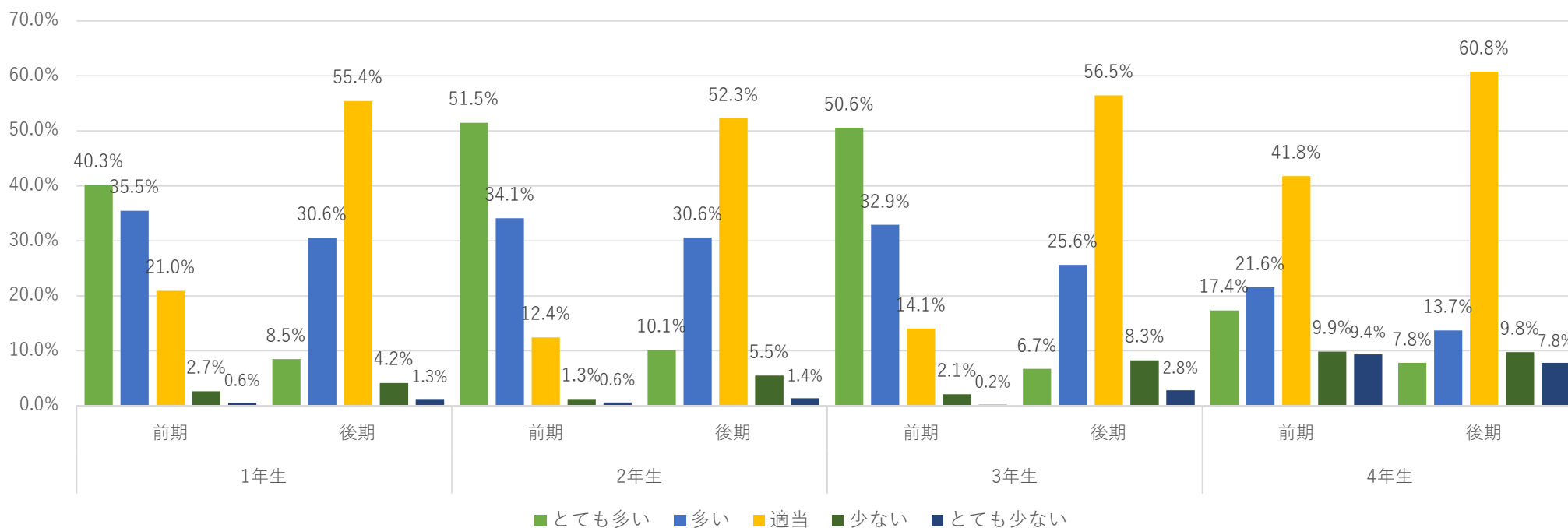
※ 1週間当たりの平均受講コマ数は、各学年とも前期と後期で大きな変化は生じなかった。



問：1週間あたりの学習時間（授業時間も含む）をどのように感じますか。

※各学年とも、前期は「とても多い」「多い」と感じた学生の割合が高いが、後期は「適当」と感じた学生が増えた。
その理由としては、学生に課される課題の負担が減ったことが推測される。

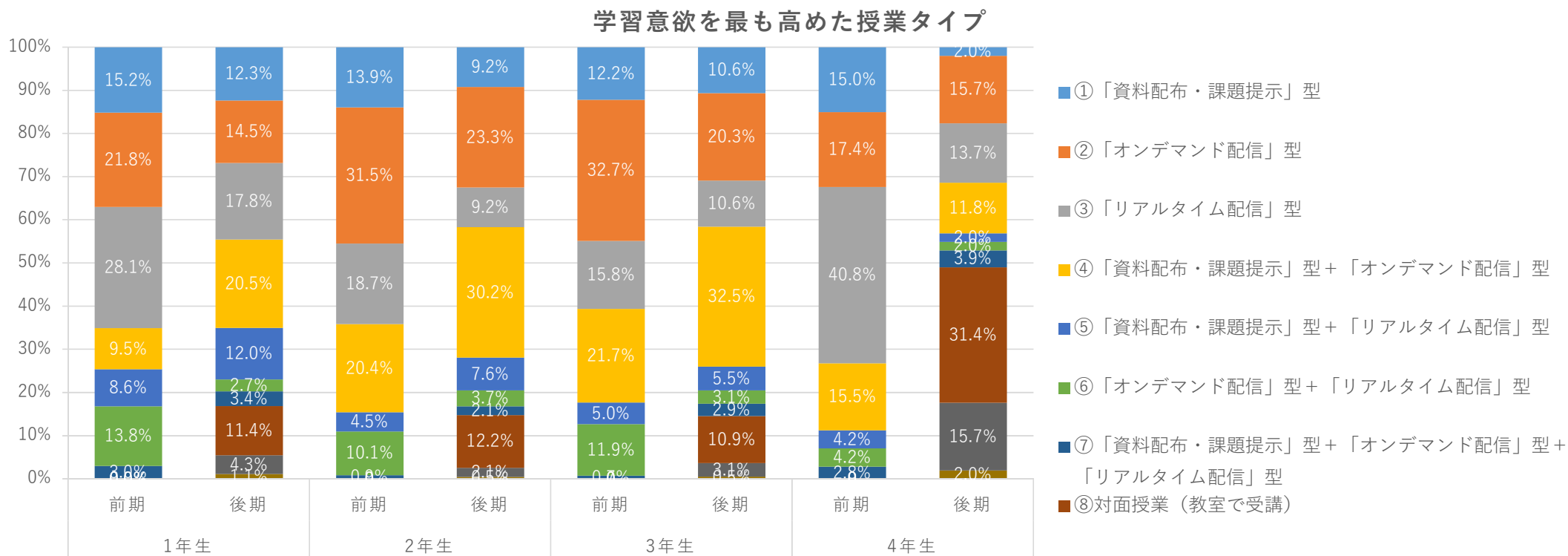
1週間あたりの学習時間（授業時間含む）の感じ方



問：受講している授業タイプのうち、学習意欲を最も高めたタイプはどれですか。

※ 前期は特に1年生・4年生が③「リアルタイム配信」型の割合が高く、次いで②「オンデマンド配信」型、④「資料配布・課題提示」型+「オンデマンド配信」型の割合が高かった。

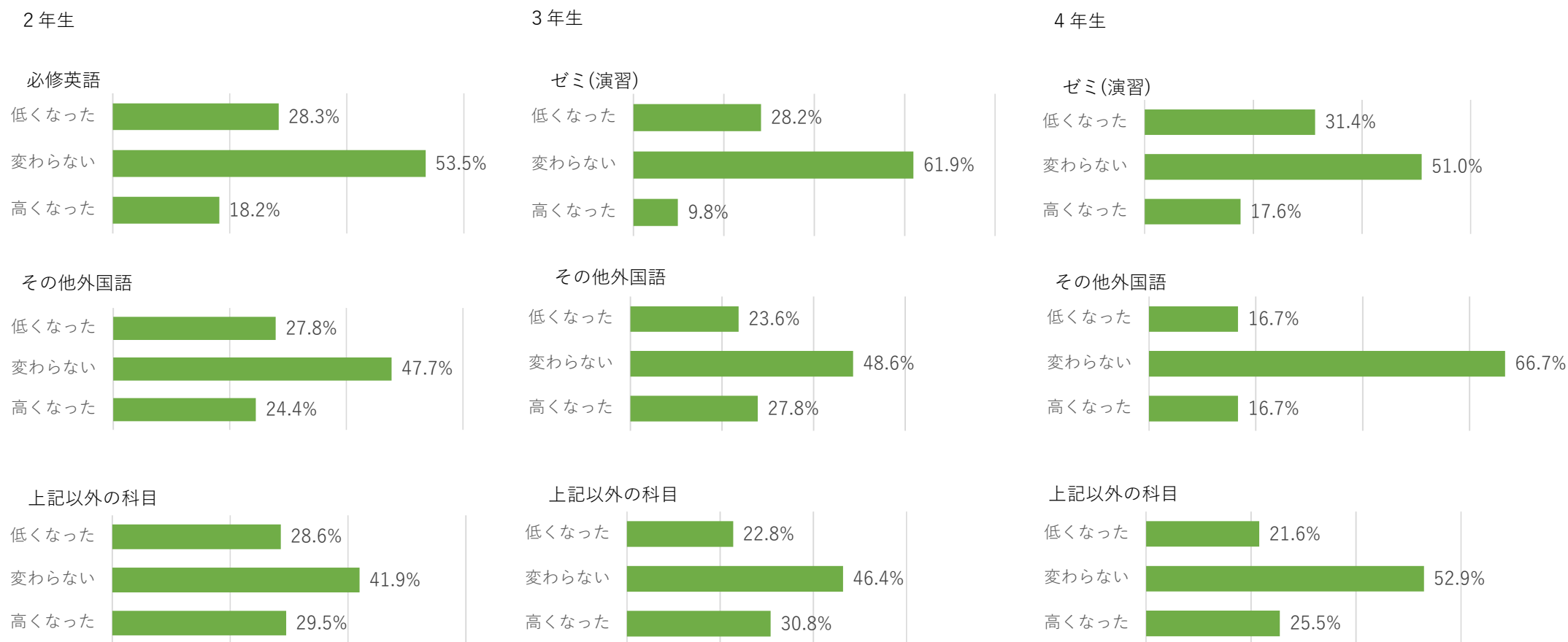
後期になると2・3年生は④「資料配布・課題提示」型+「オンデマンド配信」型の割合が増加し、特に4年生は⑧「対面授業（教室で受講）」の割合が増加した。ただし、各授業タイプの科目数の増減が結果に影響している可能性がある。



問：昨年度までの対面授業と比べ、2020年度の遠隔授業は理解度・学習効果が高くなったと思いますか。

※ 2年生～4年生のみ回答。その他外国語で「履修していない」と回答した割合は含めていない。

「必修英語」、「その他外国語」および「上記以外の科目」のいずれも「変わらない」の割合が約半数となった。



問：理解度・学習効果が高くなったと思う遠隔授業のタイプを教えてください。

※ 上記（ゼミ・必修英語・その他外国語）以外の科目で、昨年度までの対面授業と比較して2020年度の遠隔授業は理解度・学習効果が高くなったと思うと回答した学生のみ回答。

②「オンデマンド配信」型、④「資料配布・課題提示」型＋「オンデマンド配信」型の割合が高かった。

